

# 都市再生整備計画(第2回変更)

おおだてえきまえ  
大館駅前地区

あきた おおだて  
秋田県 大館市

平成30年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 様式1 目標及び計画期間

都道府県名	あきた けん 秋田県	市町村名	おおだてし 大館市	タクメイ 地区名	おおだてえきまえちく 大館駅前地区	面積	7.98	ha
-------	---------------	------	--------------	-------------	----------------------	----	------	----

計画期間	平成	29	年度	～	平成	32	年度	交付期間	平成	29	年度	～	平成	32	年度
------	----	----	----	---	----	----	----	------	----	----	----	---	----	----	----

### 目標

- ・秋田犬を核とした観光地域づくり
- ・交流人口の拡大による大館駅前地区の賑わいの再生
- ・官民連携によるまちづくり

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

##### 【まちづくりの経緯】

本市では、昭和50年代に主要産業である農林業や鉱工業の衰退による地域経済の落ち込みや都市基盤整備の遅れが見られたものの、昭和60年代以降は都市基盤整備の推進と企業誘致に積極的に取り組み、鉱業技術を活用した資源リサイクル産業をはじめ医療用機器や医薬品などの健康産業はいまや本市を支える重要な産業に発展している。近年は、日本海沿岸東北自動車道の大館北ICから小坂JCT間の開通効果により活発な企業の設備投資が行われ、平成25年の開通前後4年間の累計では49社の企業が406億円の設備投資と486人の新規雇用を生み出すなど、高速道路のストック効果によるものとして国の経済財政諮問会議においても事例紹介されている。

一方、全国的な社会情勢の低迷やモータリゼーションの進行及び大型商業施設の郊外立地に伴い、大館駅前地区を含む中心市街地の空洞化や都市機能の低下が顕著になっている。また、平成21年に100年以上の歴史を持つ小坂鉄道が廃止され大館駅前地区に18,000㎡にも及ぶ広大な空き地が出現するなど、空き地・空き店舗が増加しまちの賑わいと活気が失われていることから、その活用と都市機能の拡散防止が求められている。

##### 【まちづくりの現況】

本市は、現在、中心市街地北側の御成町南地区で土地区画整理事業による都市基盤整備を施工中であるほか、南側の大町城下町地区を中心とした歴史的風致維持向上計画を平成29年3月に認定を受け、歴史的建造物の保存・整備・活用と歴史ある街並みの景観向上に取り組みは始めている。また、本市を代表する地域資源である秋田犬は、日本では「忠犬ハチ公」のエピソードでも有名であるが、海外では、「Akita」として「Mount Fuji」の2倍を超えるほどの世界的に高い知名度を誇っているが、観光資源としての活用が不足している。そのため、秋田県と連携し秋田犬を核とした観光地域づくりによる交流人口の拡大とまちの賑わい創出に取り組みは始めている。これらの事業と併せて、平成31年4月の公表に向けて現在策定中である立地適正化計画により、都市のコンパクト化に取り組んでいる。

### 課題

- ・大館市が忠犬ハチ公のふるさとであることを全国にPRすること、地域資源である秋田犬を観光資源として十分に活用することが求められている。
- ・大館駅前地区の公的不動産である18,000㎡にも及ぶ広大な空き地の活用と、周辺に増加している空き地・空き店舗の再生が望まれている。
- ・観光地域づくりを通じた交流人口の拡大によるまちの賑わい創出が求められている。
- ・民間団体との連携によるまちづくりが必要である。

### 将来ビジョン(中長期)

#### 【総合計画】及び【総合戦略】

- ・「大館の未来を紡ぐものがたりづくり」を基本理念に、「曲げわっぱ」、「きりたんぼ」、「秋田犬及び忠犬ハチ公」、「比内地鶏」や偉大な先人など歴史人文資源を掘り起し、日本版DMO法人として登録された地域連携DMO(一般社団法人)秋田犬ツーリズム」と連携しながら、観光地域づくりを推進し、市全体を「物語」のある観光地として地域の魅力の向上と交流人口の拡大、延いては移住・定住人口の拡大を目指す。
- ・広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」の外縁部に位置する本市は、北東北の観光の要衝地である弘前市と角館を結ぶ南北軸の要として位置付け、連携と多様性により訪日外国人旅行者を含む観光客の増加を目指す。
- ・大館駅前地区にある公的不動産や民間の低未利用地の開発を誘導し、中心拠点区域を形成することにより固定資産税の維持を図る。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
観光入込客数の増加	万人/年	大館市への観光入込客数の比較	秋田犬を核とした観光地域づくりによる交流人口の拡大	188.3万人/年	H27	H32
観光消費額の増加	億円/年	大館市に流入する観光客の消費額の比較	交流人口の拡大による地域消費額の向上	99.4億円/年	H27	H32
地価下落の改善	%	大館駅前周辺の地価下落率の比較	大館駅前地区の賑わい創出による地価の向上	▲5.2%	H28	H32
空き店舗の削減	軒	エリア内の空き店舗数の比較	地方再生コンパクトシティ実施地区範囲の魅力の向上に伴う地元商店街の活性化	33軒	H28	H32

## 様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【大館駅前地区の賑わいの再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「忠犬ハチ公」のエピソードでも有名であり、海外では、「Akita」として「Mount Fuji」の2倍を超えるなど世界的に高い知名度を誇る秋田犬を、キラコンテンツとして有効に活用し、国内外からの観光客を誘客する核施設として、観光交流センター「ハチ公の駅(仮称)」を整備する。</li> <li>・「ハチ公の駅(仮称)」には秋田犬・忠犬ハチ公に関する展示コーナー、秋田犬と実際にふれあうことのできる秋田犬ふれあいコーナー、及び観光案内所と観光物産館を併設した観光交流センターとして整備する。</li> <li>・地元商店街や町内会をはじめとして、多くの団体が多様なイベントや活動を通じて地域交流の場として活用していけるように多目的広場を整備し、観光客との交流人口の拡大に繋げる。</li> <li>・市民及び観光客がペットと自由にくつろぐことのできる芝生広場として秋田犬ふれあい広場を整備する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高次都市施設：観光交流センター「ハチ公の駅(仮称)」</li> <li>地域生活基盤施設：秋田犬ふれあい広場、多目的広場、駐車場、情報板</li> <li>高質空間形成施設：公衆トイレ、カラー舗装、照明</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)(総務省補助事業)</li> <li>空き店舗等利活用事業(市単独事業)</li> <li>「秋田犬」活用による観光地域づくり推進計画(地方創生推進交付金)</li> <li>レールバイク運行事業(市単独事業)</li> <li>主要地方道大館停車場線無電柱化・融雪歩道整備(秋田県道路事業)</li> </ul>
事業実施における特記事項	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、地区内には、「大館駅前振興組合」「大館北地区町内会連絡協議会」「御成町1丁目町内会」等の団体により、「大館神明社の秋の例祭」、大館駅前の活性化イベントである「駅-one」等の事業が行われており、にぎわいの創出に寄与している。</li> <li>・遊休不動産・事業者オーナー、市民及び行政によるリノベーションスクール開催し、公民連携のまちづくりを推進する。</li> <li>・平成28年度から様々な職種(商業・金融・福祉・交通・農業・子育て等)の20～40代の若手メンバーが集まり、行政と協働で「大館まちづくりワークショップ」を立ち上げ、まちの賑わいに必要なコンテンツ(住む・学ぶ・育てる・働く・遊ぶ)をテーマに勉強会や視察を重ね、具体の行動へとつなげる活動を行っている。</li> </ul> <p>【官民連携体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○(公益社団法人)秋田犬保存会と連携し、秋田犬の飼育頭数増加の取組による「秋田犬の里」づくりの実施</li> <li>○地元商工団体、金融機関と連携し、創業支援事業による起業者の創出と空き店舗の再生</li> <li>○(一般社団法人)大館青年会議所、(公益社団法人)東京青年会議所渋谷区委員会との連携により、「渋谷・大館グリーンツーリズム」事業の実施</li> <li>○NPO法人大館・小坂鉄道レールバイク、秋田商業能力開発短期大学校との連携により、手漕ぎトロッコの製作・運行、レールバイク事業の拡大</li> </ul> <p>【政策間連携体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市のまちづくり・産業観光部局・福祉部局及び教育委員会と連携し、大館駅前地区の活性化のため、市役所内の業務を横断的に実施する体制を構築する。(アニマルセラピー・秋田犬研修)</li> </ul> <p>【事業完了後の継続性、人材育成、維持管理費の低減】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市主催によるハチ公の駅(仮称)での秋田犬及び忠犬ハチ公に関するイベントの開催、民間団体主催による多目的広場での年間を通じた定期的な賑わいイベントの開催を実施する。</li> <li>○秋田犬保存会と連携し、小中学生への秋田犬及び忠犬ハチ公に関する研修会を実施し秋田犬案内人を育成する。</li> <li>○遊休不動産・事業者オーナー・市民及び行政によるリノベーションスクールを開催し、経営者の育成・発掘を図り、持続可能なまちづくりにつなげる。</li> <li>○秋田犬ふれあい広場の芝生にストレス耐性大型野芝を導入し、草刈り等の維持管理費を低減する。</li> </ul>	

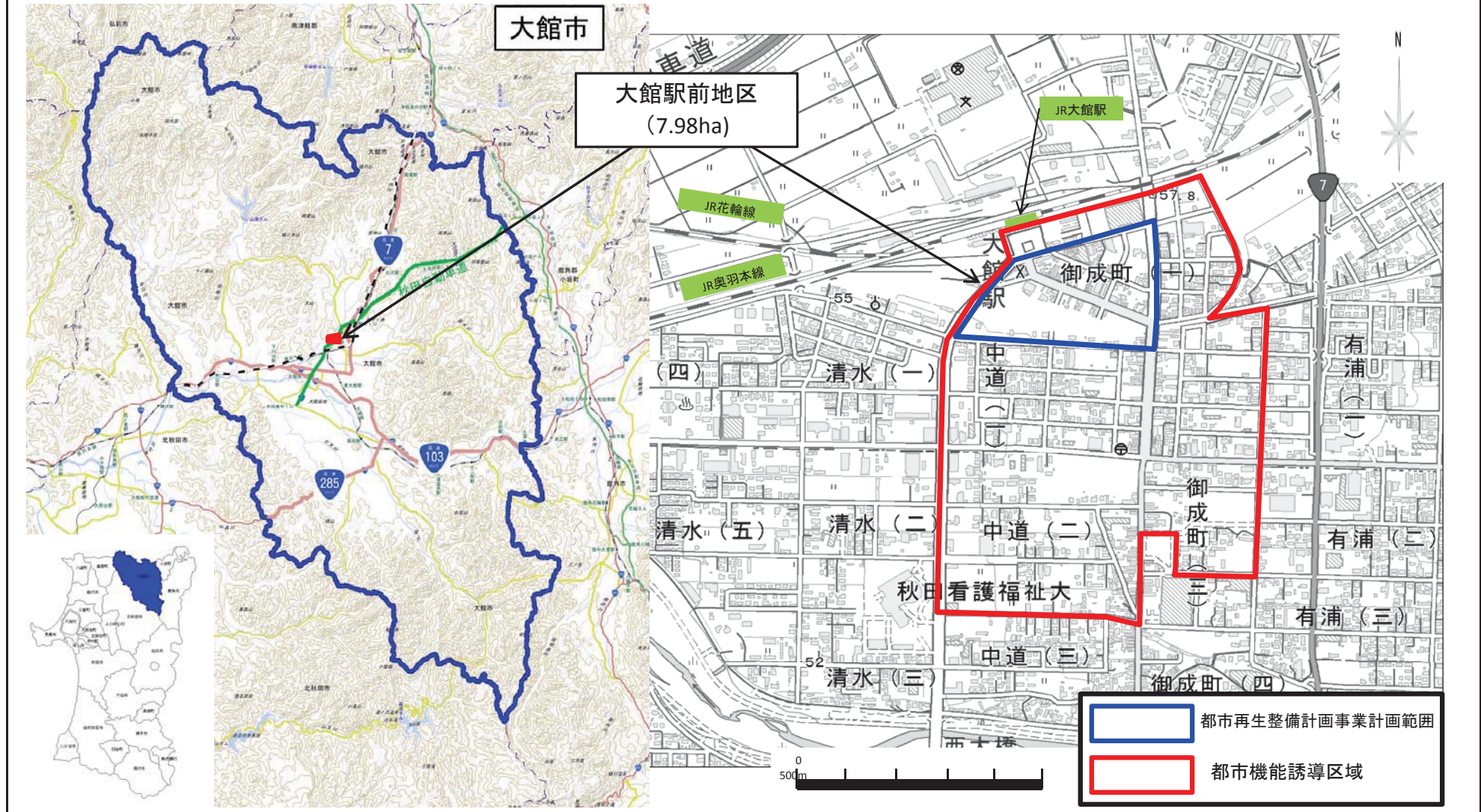




都市再生整備計画の区域

大館駅前地区(秋田県大館市)	面積	7.98 ha	区域	大館市御成町1丁目～3丁目
----------------	----	---------	----	---------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。





## 大館駅前地区(秋田県大館市) 整備方針概要図

目標	交流人口拡大による持続可能なまちづくり	代表的な指標	観光消費額の増加 (億円/年)	99.4 (H27年度) → 113.7 (H32年度)
			地価下落の改善 (%)	▲5.2 (H28年度) → ▲2.0 (H32年度)
			空き店舗の削減 (軒)	33 (H28年度) → 27 (H32年度)

